

農業参入でラズベリー加工品を開発

ジャム、ドレッシングを
6品目を商品化



地元産ラズベリーの商品開発した尾野さん

異業種参入でラズベリー栽培に取り組んできた尾野建設（尾野勝代表取締役）がジャムやドレッシングなどの加工品を商品開発し、3月12日、福島市長に報告しました。

尾野建設では、平成17年から稲垣町でラズベリーの栽培を始め、現在30アールの畑で年間約450キロの実を収穫しています。これまで、独自にジャムなどを作ってきましたが、県建設産業新分野進出ブラッシュアップ事業とABC（アグリビジネスチャレンジ）相談会の県事業を活用。専門家の意見を取り入れながら、内容やパッケージを見直し「ラズベリードリームつがる」というブランドで果実の色や風味を生かしたジュースやキャンディなど6種類を商品化しました。

尾野さんは「海外産に比べて香りが高い。青森の新しいお土産として定着すれば」と話し、試食した福島市長は「さわやかな味。種類も豊富なので大都市でも通用するのではないか」と期待を寄せていました。



つがる市食産業ネットワーク会員募集

1次、2次、3次産業が連携して農林水産物等の付加価値を高め、地域の活性化や新たな産業の創出に取り組む「つがる市食産業ネットワーク」の会員を募集します。つがる市の地域資源に興味、関心のある方ならどなたでも参加できます。（年会費無料）

〈参加メリット〉

- ・ビジネスチャンスが広がります。
- ・新たなビジネスモデルの創出につながります。
- ・各種セミナー、研修等の情報を得ることができます。

〈活動内容〉

- ・会員相互が情報を共有し、新たなビジネスチャンスを創出するための異業種座談会・交流会の開催
- ・つがる市産農林水産物等の地域資源に関する情報や関係機関が主催する研修会、セミナー等の情報提供

【申し込み・問い合わせ先】 農林水産課 電話42-2111（内線414）



「つがるブランド」農産物・加工品を募集

市内で生産された農産物や農産物加工品について、市が独自の基準により「つがるブランド」産品として認定を行っています。認定された産品は、つがるブランド推進会議が消費者にPRし、信用・信頼されるブランドに育てていきますので、皆様の積極的な申請をお待ちしています。

対象 ①つがる市農産物 ②つがる市農産物使用加工品

申請資格 市内に居住している個人および法人、またはそれらの方で構成されたグループおよび団体

募集期間 ①農産物：平成26年5月30日（金）まで ②加工食品：随時

申請方法 認定申請書に関係書類を添えて、農業協同組合の組合員の方は各農協へ、組合員以外の方や加工品を申請する方は市役所地域振興対策室へ郵送または持参してください。

※認定の基準や申請書の書き方などの詳細については、下記へお問い合わせください。

【提出・問い合わせ先】 つがるブランド推進会議（つがる市役所地域振興対策室内）

〒038-3192 つがる市木造若緑61-1 電話42-2111（内線418）



市の人口と世帯数（平成26年3月31日現在）・人口 35,217人（男 16,653人・女 18,564人）・世帯数 13,488世帯